

平成26年度決算に係る

# 定期監査調書

平成27年6月

鳥取県埋蔵文化財センター

## 目 次

1	前年度指摘事項等に対する措置等	1
	(1) 指摘事項 (2) 監査意見	
2	前年度県議会決算審査特別委員会の指摘事項に対する処理状況	1
3	組織及び業務調べ	1
4	職員の定員、現員調べ	2
5	役付職員の調べ	2
6	主な事業に関する調べ	3
7	収入証紙取扱額調べ	1 1
8	収入事務処理状況調べ	1 1
	(1) 分担金及び負担金 (2) 使用料 (3) 手数料	
	(4) 財産収入 (5) 諸収入 (6) 現金の取扱状況	
9	収入未済額調べ	1 2
10	未収金回収促進のための取り組み状況調べ	1 3
11	不納欠損額調べ	1 3
12	負担金、補助金、交付金及び委託料支出状況調べ	1 4
	(1) 負担金 (2) 補助金 (3) 交付金 (4) 委託料	
13	工事請負費調べ	1 9
14	財産に関する調べ	2 2
	(1) 公有財産 (2) 金券類の受払状況	
15	財産の貸付及び使用許可調べ	2 5
	(1) 土地及び建物 (2) 物品	
16	借受不動産明細調べ	2 6
17	職員住宅及び職員駐車場の管理状況調べ	2 6
	(1) 職員住宅 (2) 職員駐車場	
18	自動車（二輪を除く）の管理状況調べ	2 8
19	寄附物件の受納状況調べ	2 8
20	備品の処分状況調べ	2 8
21	現金、有価証券、物品の亡失、損傷調べ	2 8
	(1) 現金、有価証券、物品の亡失、損傷調べ	
	(2) 物品の照合	
22	埋蔵文化財の調査と研究	2 9
23	埋蔵文化財保護思想の普及状況	3 0
24	埋蔵文化財関係職員等の研修	3 2
25	文化財保護の資料収集及び活用状況	3 3
26	出土品の整理及び公開状況	3 3
○	意見、要望等	3 5

1 前年度指摘事項等に対する措置等

(1) 指摘事項

該当なし

(2) 監査意見

該当なし

2 前年度県議会決算審査特別委員会の指摘事項（口頭指摘を含む。）に対する処理状況

該当なし

3 組織及び業務調べ

局(所)名	課名	係(班)名	課の主な所掌事務
埋蔵文化財センター		総務担当	・埋蔵文化財の調査研究に関すること
		企画研究担当	・埋蔵文化財関係職員その他関係者の研修に関すること
		青谷上寺地遺跡調査担当（青谷調査室）	・埋蔵文化財の発掘調査及び保存に係る指導及び助言に関すること
		発掘事業室	・出土品の整理及び公開に関すること
		調整担当	・埋蔵文化財発掘調査に係る記録の収集整理に関すること
		調査担当（気高調査事務所）	・その他埋蔵文化財の保存及び活用を図るために必要な事項に関すること

4 職員の定員、現員調べ

(平成27年6月1日現在)

種別 区分	事務職員		技術職員		現業職員		計		備考
	当該年度	26.4.1現在	当該年度	26.4.1現在	当該年度	26.4.1現在	当該年度	26.4.1現在	
定員	29	29	0	0	0	0	29	29	
現員	(2) 29	(1) 27	0	0	0	0	(2) 29	(1) 27	( )は育児休業で内数
過不足(Δ)	(2) 0	(1) Δ2	0	0	0	0	(2) 0	(1) Δ2	
臨時職員	0	0	0	0	0	0	0	0	
非常勤職員	3	3	0	0	0	0	3	3	一般事務
	4	4	0	0	0	0	4	4	事務補助
	1	1	0	0	0	0	1	1	発掘調査員

5 役付職員の調べ

(平成27年6月1日現在)

職名	氏名	在職期間		備考
所長	中原 齊	1年	2月	
次長	近藤 健	0	2	次長兼係長
発掘事業室長	山柝 雅美	7	2	発掘事業室長兼調整担当係長

6 主な事業に関する調べ

事業名	概要												
<p>青谷上寺地遺跡発掘調査事業</p> <p>決算見込額 43,372千円</p> <p>(財源内訳) 国庫支出金 16,850千円 一般財源 26,417千円 その他 105千円</p> <p>○将来ビジョン IV楽しむ (1)本件の豊かな歴史、自然・環境、食、文化等を知り楽しむとともに、地域において自分の存在や役割に手応え・充実感が感じられる「価値実感生活」の実現</p>	<p>ア 目的及び事業の実施状況</p> <p>(ア) 目的</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○国史跡青谷上寺地遺跡を整備・活用していくために必要なデータを得る。</li> <li>○遺跡の詳細な内容を確認し、構造や景観などの実態解明を図る。</li> <li>○「交易拠点としての港湾集落」の具体像を探る。</li> </ul> <p>&lt;参考&gt;青谷上寺地遺跡の発掘調査経過</p> <p>平成10年度から平成13年度まで、山陰自動車道及び県道建設に伴う事前の発掘調査が実施された。その後、国史跡指定に向け遺跡の範囲確認に重点を置いた「第一期調査(平成13年度～平成17年度)」、遺跡の成り立ちと中心域縁辺の様子を明らかにし、周辺関連遺跡の確認を行う事に重点を置いた「第二期調査(平成18年度～平成20年度)」を実施し、現在はこれらの調査を経て、青谷上寺地遺跡が最も栄えた弥生時代後期後葉の集落全体像の解明を目指した「第三期調査(平成21年度～)」を実施している。</p> <p>これまでの調査で、青谷上寺地遺跡の範囲は33haに及ぶことが分かり、中心域とされる4haを含めた14haが平成20年3月28日国史跡として指定(平成22年8月5日、同23年9月21日、同25年10月17日、同26年10月6日追加指定)されているが、発掘調査は全体の1割にも満たない1.9haにしか及んでいない。</p> <p>「22 埋蔵文化財の調査と研究」(P.27)のとおり</p> <p>(イ) 事業の実施状況</p> <p>○発掘調査</p> <p>遺跡の盛期である弥生時代後期の中心域西側における集落様相解明を目的とした発掘調査を行うとともに、調査状況を公開した。</p> <table border="1" data-bbox="502 1182 1390 1525"> <tr> <td>調査面積</td> <td>225㎡</td> </tr> <tr> <td>調査期間</td> <td>6月4日～12月5日</td> </tr> <tr> <td>調査公開</td> <td>6月6日～12月5日(見学者:延241人)</td> </tr> <tr> <td>現地説明会</td> <td>11月1日(来場者:60人)</td> </tr> <tr> <td>報告書作成</td> <td>平成26年度発掘調査概要報告</td> </tr> <tr> <td>古環境データの整理</td> <td>青谷上寺地遺跡の古環境を構成する要素の整理と、古環境復原に資するためのデータ収集</td> </tr> </table> <p>○埋蔵環境調査</p> <p>良好に保たれている埋蔵環境を監視するために、地下水観測等を継続して実施した。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・水位観測</li> <li>・水質調査(pH、酸化還元電位、溶存酸素量)</li> </ul> <p>○出土品保存処理</p> <p>調査研究や活用を可能とし、後世に引継ぐための恒久的な保存処理を行った。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・保存処理委託(木製品7点、鉄製品15点、青銅製品3点)</li> <li>・直営保存処理(木製品約800点)</li> </ul>	調査面積	225㎡	調査期間	6月4日～12月5日	調査公開	6月6日～12月5日(見学者:延241人)	現地説明会	11月1日(来場者:60人)	報告書作成	平成26年度発掘調査概要報告	古環境データの整理	青谷上寺地遺跡の古環境を構成する要素の整理と、古環境復原に資するためのデータ収集
調査面積	225㎡												
調査期間	6月4日～12月5日												
調査公開	6月6日～12月5日(見学者:延241人)												
現地説明会	11月1日(来場者:60人)												
報告書作成	平成26年度発掘調査概要報告												
古環境データの整理	青谷上寺地遺跡の古環境を構成する要素の整理と、古環境復原に資するためのデータ収集												

事業名	概要
(青谷上寺地遺跡発掘調査事業 続き)	<p>イ 平成26年度の事業実施に当たり改善等に取り組んだ点</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○発掘調査               <ul style="list-style-type: none"> <li>・遺構の記録・図化作業の効率化を図るため、3D画像作成ソフトを試験的に導入した。</li> </ul> </li> <li>○古環境調査               <ul style="list-style-type: none"> <li>・奈良文化財研究所と連携研究協定を締結し、調査区内の堆積構造を詳しく調べるため、X線CT解析を実施した。</li> </ul> </li> </ul> <p>ウ 成果</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○発掘調査               <ul style="list-style-type: none"> <li>【古代(奈良・平安時代)】                   <ul style="list-style-type: none"> <li>・条里地割の境界と考えられる畔状の盛土1条を確認した。</li> <li>・推定古代「山陰道」(平成24年度の第14次調査で検出)を基準として、南北で対称に条里地割が施工されていた可能性が高まった。</li> </ul> </li> <li>【弥生・古墳時代】                   <ul style="list-style-type: none"> <li>・木造構造物を伴う畔状の盛土1条(古墳時代)、溝状遺構1条(弥生時代)を確認した。</li> <li>・これまでの調査成果と合わせて、弥生時代終わり頃から古墳時代初め頃にかけて、湿地への働きかけが盛んに行われた様相がより一層明確となった。</li> </ul> </li> </ul> </li> <li>○埋蔵環境調査               <ul style="list-style-type: none"> <li>・地下水の状況が良好な状態で保たれていることを確認した。</li> </ul> </li> <li>○出土品保存処理               <ul style="list-style-type: none"> <li>・前年度実施分について、青谷調査室収蔵展示室で公開した。</li> <li>・次年度以降の調査研究や展示を始めとした活用に資することが可能となった。</li> </ul> </li> <li>○古環境調査               <ul style="list-style-type: none"> <li>・土壌の分析結果から、青谷上寺地遺跡における堆積のメカニズムについて検討する材料を得た。</li> </ul> </li> </ul> <p>エ 課題</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○発掘調査               <ul style="list-style-type: none"> <li>・史跡としての整備活用を見据え、今後の発掘調査について、整備計画と一体となった調査計画・調査方法を策定する必要がある。</li> </ul> </li> </ul>

事業名	概要
<p>青谷上寺地遺跡出土品調査研究等事業</p> <p>決算見込額 36,811千円</p> <p>(財源内訳) 国庫支出金 9,887千円 一般財源 26,839千円 その他 85千円</p> <p>○将来ビジョン IV楽しむ (1) 本件の豊かな歴史、自然・環境、食、文化等を知り楽しむとともに、地域において自分の存在や役割に手応え・充実感が感じられる「価値実感生活」の実現</p>	<p>ア 目的及び事業の実施状況</p> <p>(ア) 目的 ○青谷上寺地遺跡の出土品が持つ豊富な情報を多くの方に知っていただく。 ○情報発信を通じて、出土品の活用と遺跡の持つ重要性や魅力をアピールする。</p> <p>(イ) 事業の実施状況</p> <p>○出土品の調査研究 石器の再整理と調査研究を行った。 ・データベースの作成・公開 ・調査研究報告書の刊行</p> <p>○出土品のレプリカ作製 管玉製作の一連の工程を追うことのできる我が国唯一の資料である「碧玉製玉素材接合資料」をはじめとして、石製品2点、土器1点、木器7点、計10点のレプリカを作成した。</p> <p>○青谷上寺地遺跡弥生講座 青谷上寺地遺跡の最新の調査研究成果について、分かりやすく情報発信した。 ・土曜講座（於鳥取市青谷町総合支所多目的ホール） ：5/24、7/19、10/11、12/20、2/7の土曜日 講師：鳥取県埋蔵文化財センター職員 参加者：延131人（H26.12.20現在） 「23 埋蔵文化財保護思想の普及状況」（P.28）のとおり</p> <p>・青谷上寺地遺跡フォーラム（於鳥取市青谷町総合支所多目的ホール） 3月14日（土）開催 「人・もの・心を運ぶ船 ～青谷上寺地遺跡の交流をさぐる～」 講演：深澤芳樹（天理大学客員教授） 洲澤育範（カヌー大工） 報告：君嶋俊行（埋蔵文化財センター青谷上寺地遺跡調査担当係長） 櫻村賢二（県立公文書館県史編さん室専門員） パネルディスカッション コーディネーター：深澤芳樹 パネリスト：洲澤育範、櫻村賢二、君嶋俊行 参加者：●人 「23 埋蔵文化財保護思想の普及状況」（P.29）のとおり</p> <p>イ 平成26年度の事業実施に当たり改善等に取り組んだ点 ・土曜講座のチラシを県内市町村の図書館・資料館等に配布し、例年より広い範囲への広報に努めた。</p> <p>ウ 成果</p> <p>○出土品の調査研究 ・石器の再整理、データベース化を進めたことにより、約5,000点に及ぶ青谷上寺地遺跡の石器の全体像が明らかとなった。</p>

事業名	概要
<p>(青谷上寺地遺跡出土品調査研究等事業続き)</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・公開中のデータベースに関して、開設当初から継続したアクセスがあり、概ね好評を得ていると考える。 <ul style="list-style-type: none"> <li>建築部材DB総アクセス数：105,933件（1月末現在）</li> <li>骨角器DB総アクセス数：43,736件（1月末現在）</li> <li>金属器DB総アクセス数：30,324件（1月末現在）</li> <li>木製農工具・漁撈具DB総アクセス数：17,628件（1月末現在）</li> <li>玉作関連遺物DB総アクセス数：752件（1月末現在）</li> <li>石器DB総アクセス数：208件（1月末現在）</li> </ul> </li>   <li>○出土品のレプリカ作製 <ul style="list-style-type: none"> <li>・昨年度及び今年度作製分について、センター主催の展示や他館への貸出に供することで、多くの方に見ていただくことができた。</li> </ul> </li>   <li>エ 課題 <ul style="list-style-type: none"> <li>○出土品の調査研究 <ul style="list-style-type: none"> <li>・出土品の種別ごとの調査研究成果を基に、出土品全体を総合的に把握して青谷上寺地遺跡の生活や生業を復原する「第2次調査研究」の計画を策定する必要がある。</li> </ul> </li> <li>○青谷上寺地遺跡弥生講座 <ul style="list-style-type: none"> <li>・土曜講座について、年数を重ねるにつれてテーマが細分化・専門化し、初めて参加する方にとっては難しい内容となりがちなので、参加者の幅広いレベル、ニーズに応えるためのテーマ設定を工夫する必要がある。</li> </ul> </li> </ul> </li> </ul>



事業名	概要
<p>鳥取県の考古学情報発信事業</p> <p>決算見込額 11,286千円</p> <p>(財源内訳)</p> <p>国庫支出金 3,765千円</p> <p>一般財源 7,507千円</p> <p>その他 14千円</p> <p>○将来ビジョン IV楽しむ (1)本件の豊かな歴史、自然・環境、食、文化等を知り楽しむとともに、地域において自分の存在や役割に手応え・充実感が感じられる「価値実感生活」の実現</p>	<p>ア 目的及び事業の実施状況</p> <p>(ア) 目的</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○県民の方々に鳥取県の考古学に関する様々な情報を積極的に発信する。</li> <li>○埋蔵文化財センター等に保管されている出土品や調査記録などを積極的に活用し、児童・生徒をはじめとする県民の方々に郷土の歴史や地域の埋蔵文化財への認識を深めていただく。</li> </ul> <p>(イ) 事業の実施状況</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○展示見学活用事業 <ul style="list-style-type: none"> <li>・「来て！見て！！さわって！！とっとり発掘速報展」の開催</li> <li>・「とっとり発掘物語展」の開催</li> <li>・「埋蔵文化財センター常設展」の開催</li> <li>・埋蔵文化財センターでの見学・体験学習への対応</li> <li>・「埋蔵文化財センター古代まつり」の開催</li> <li>・出土資料等の再整理・復元・公開</li> </ul> </li> <li>○「26 出土品の整理及び公開状況」(P.31~32)のとおり</li> <li>○「古代歴史への誘い」事業 <ul style="list-style-type: none"> <li>・出前講演の実施(文化財主事による鳥取県の考古学情報発信)</li> <li>○「23 埋蔵文化財保護思想の普及状況」(P.29)のとおり</li> </ul> </li> <li>○市町村等への支援 <ul style="list-style-type: none"> <li>○「26 出土品の整理及び公開状況」(P.31~32)のとおり</li> </ul> </li> <li>○普及資料刊行事業 <ul style="list-style-type: none"> <li>○「23 埋蔵文化財保護思想の普及状況」(P.28~30)のとおり</li> </ul> </li> </ul> <p>イ 平成26年度の事業実施に当たり改善等に取り組んだ点</p> <p>当センターを会場に開催した「埋蔵文化財センター古代まつり」において、昨年度以上に体験コーナーを増やすなど充実を図った。また、八頭町・若桜町・智頭町教育委員会と共催で「とっとり発掘物語展」を開催し、地域の歴史を展示を通して情報発信した。</p> <p>ウ 成果</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○「来て！見て！！さわって！！とっとり発掘速報展」の開催 <ul style="list-style-type: none"> <li>多くの方々に、気軽に埋蔵文化財の展示を見てもらい、郷土の文化財への関心を喚起する機会を提供できた。</li> <li>出土品に触っていただくタッチングコーナーは延べ24時間にわたって開設し、704人の方に体験していただくことができ、好評を博した。</li> </ul> </li> <li>○「とっとり発掘物語展」の開催 <ul style="list-style-type: none"> <li>八頭町・若桜町・智頭町教育委員会と共催で開催し、1,086人の来場者を得るなど、好評を博した。</li> </ul> </li> </ul>

事業名	概要												
(鳥取県の考古学 情報発信事業 続き)	<p>○「埋蔵文化財センター古代まつり」の開催            県民の方々に考古学や埋蔵文化財を身近に感じてもらうため、模擬発掘体験コーナーやパズル土器コーナーなどの体験型イベントを用意し、472人の方々に体験していただくことができた。</p> <p>○鳥取県の考古学情報発信「古代歴史への誘い」            出前講演では、多くの質問があるなど鳥取県の埋蔵文化財に関心を持っていただけた。</p> <p>エ 課題            「展示見学活用事業」において、展示会などの見学者数は多数のまま安定してきているが、当センターへの見学・体験学習者の数は約1,000人程度で横ばいとなっているため、学校等へより一層利用を働きかける必要がある。            (当センターへの見学・体験学習者数)</p> <table border="1" data-bbox="467 772 1289 891"> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>H22</th> <th>H23</th> <th>H24</th> <th>H25</th> <th>H26</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>見学者数</td> <td>567人</td> <td>682人</td> <td>673人</td> <td>1,080人</td> <td>791人</td> </tr> </tbody> </table> <p style="text-align: right;">※H26は、1月31日現在</p>	年度	H22	H23	H24	H25	H26	見学者数	567人	682人	673人	1,080人	791人
年度	H22	H23	H24	H25	H26								
見学者数	567人	682人	673人	1,080人	791人								
埋蔵文化財専門職員 研修事業  決算見込額 418千円  (財源内訳) 一般財源 418千円	<p>ア 目的及び事業の実施状況            (ア) 目的            ○県内の埋蔵文化財担当者等を対象として、埋蔵文化財の発掘調査を迅速かつ適正に進めるための研修を行い、発掘調査の実施に必要な専門知識と技能の習得及びその向上を図る。</p> <p>(イ) 事業の実施状況            「24 埋蔵文化財関係職員等の研修」(P.30)のとおり</p> <p>イ 平成26年度の事業実施に当たり改善に取り組んだ点            埋蔵文化財担当職員のニーズに応え「発掘技術検討課程」では、デジタル一眼レフカメラでの発掘調査の記録写真撮影方法等の研修会を企画した。</p> <p>ウ 成果            ○遺跡調査検討課程            調査方法の習得を行うとともに、調査内容の検討や問題点の共通認識が得られた。</p> <p>○発掘技術検討課程            デジタル一眼レフカメラでの発掘調査の記録写真撮影方法等を研修し、今後なくなりつつあるフィルムカメラの代用をデジタル一眼レフカメラで行うこと、データの保存方法についての知見を得た。</p> <p>エ 課題            より多くの埋蔵文化財担当職員が参加できるように、参加しやすい日程やカリキュラムとなるよう検討するとともに、埋蔵文化財担当職員のニーズに即したテーマとなるよう検討する必要がある。</p>												

事業名	概要
<p>受託発掘調査事業</p> <p>決算見込額 1,733,628千円</p> <p>(財源内訳) その他 (国委託費) 1,733,403千円 (その他) 225千円</p>	<p>ア 目的及び事業の実施状況</p> <p>(ア) 目的 一般国道9号(山陰道)の改築に伴い、記録保存のための発掘調査を行う。</p> <p>(イ) 事業の実施状況 一般国道9号(鳥取西道路)の改築に伴う発掘調査(発掘調査平面積30,654.8㎡、5遺跡)を国土交通省からの委託を受けて実施し、適切に調査記録を作成した。 発掘調査を実施した遺跡は、青谷横木遺跡、会下・郡家遺跡、乙亥正屋敷廻遺跡、乙亥正大角遺跡、下坂本清合遺跡である。 「22 埋蔵文化財の調査と研究」(P.27~28)のとおり</p> <p>イ 平成26年度の事業実施に当たり改善等に取り組んだ点</p> <p>(ア) 文化財主事の配置の効率化(文化財主事1名が対応できる調査面積を増やす)を図るために、直営での発掘調査から「発掘調査支援業務委託」に移行した。</p> <p>(イ) 国交省の事前準備(矢板打設)の計画策定が遅れ、(ア)の委託業務の入札の時期が遅れたことから、入札が不調に終わった遺跡があった。そのため、急遽直営で発掘調査を実施することとなったが、発掘作業員を直接雇用するための採用試験を実施する期間がとれず、労働者派遣を受けて発掘調査をようやく開始した。</p> <p>(ウ) 工期に間に合わせるための緊急措置として、降雪期(1月~3月)の発掘調査を可能とするために、一部で全天候型の大型テントを導入した</p> <p>ウ 成果</p> <p>(ア) 直営での発掘調査に比して、文化財主事1名が対応できる調査面積を増やすことができた。</p> <p>(イ) 労働者派遣による発掘作業員の現場への配置を調達公告から1ヶ月(直接雇用の場合は募集開始から2.5ヶ月必要)で行うことができ、入札不調による直営調査への変更を迅速に行うことができた。</p> <p>(ウ) 降雪期の調査の現場稼働率が大幅にアップした。</p> <p>エ 課題</p> <p>(ア) 発掘調査支援業務の受託者の一部で業務遂行能力が不十分なところがあり、直営の発掘調査に比して、調査期間が長くなり、経費も倍以上かかる場所があったため、平成27年度業務は受託者が配置する支援調査員の資格要件を追加して、能力が不十分な支援調査員が配置されないよう対応することにした。 また、発掘調査支援業務は入札が成立しなければ、発掘調査に着手できないリスクを伴う方法である。現状で受託業者数に比して鳥取西道路関係の発掘調査事業量が多く、このリスクは高いと考える。</p> <p>(イ) 派遣された発掘作業員は、直接雇用の場合に比して、仕事への使命感が低いことから欠席率が高く、作業量が予定どおりにこなせない場合がある。平成27年度事業分は、発掘調査支援業務の入札が不調とならないよう、国交省に事前準備の工期の徹底を約束し、全遺跡での入札時期を早くするようにした。</p> <p>(ウ) 全天候型テントは、調査面積の小さい遺跡(橋脚部分のみの調査等)にのみ活用することができるもので、全遺跡への汎用性はない。また、調査区が天幕で覆われることで、テント設置後は、機器等の調査区への出し入れが容易にできなくなった。また、冬期の寒さの軽減にはならない。</p>

事業名	概要
	(エ) 受託発掘調査で出土した大量の出土品の保管スペースが不足しており、整理中の出土品の一部は屋外に仮置きせざるを得ない状況である。また、整理完了後の収蔵スペースもすでに満杯状態に近い。

7 収入証紙取扱額調べ

該当なし

8 収入事務処理状況調べ

(1) 分担金及び負担金

該当なし

(2) 使用料

(平成26年12月31日現在)

(単位：円)

収入科目			件数	調定金額	収入済額	不納欠損額	収入未済額	根拠法令名等	備考
目	節	細節							
行政財産使用料	行政財産使用料	(電柱用地使用料)	4	18,000	18,000	0	0	鳥取県公有財産 事務取扱規則、 鳥取県行政財産 使用料条例	
		(駐車場使用料)	144	464,400	464,400	0	0		
		計(節)	148	482,400	482,400	0	0		
目計			148	482,400	482,400	0	0		
合計			148	482,400	482,400	0	0		

(3) 手数料

該当なし

(4) 財産収入

(平成26年12月31日現在)

(単位：円)

収入科目			件数	調定金額	収入済額	不納欠損額	収入未済額	根拠法令名等	備考
目	節	細節							
物品売払収入	物品売払収入		62	271,640	271,640	0	0	県刊行物作成要領	書籍販売代金
目計			62	271,640	271,640	0	0		
合計			62	271,640	271,640	0	0		

(5) 諸収入

(平成26年12月31日現在)  
(単位:円)

収入科目			件数	調定金額	収入済額	不納欠損額	収入未済額	根拠法令名等	備考
目	節	細節							
雑入	雑入		1	1,978	1,978	0	0	行政財産許可証	行政財産使用に係る 光熱水費等負担分
目計			1	1,978	1,978	0	0		
合計			1	1,978	1,978	0	0		

(6) 現金の取扱状況

ア 現金取扱状況

(平成26年12月31日現在)  
(単位:円)

収入科目(節)	収入済額	備考
物品売払収入	271,640	書籍販売代金
合計	(62件)	

イ つり銭の状況

(平成26年12月31日現在)

つり銭の有無	無	つり銭の額(円)	0
--------	---	----------	---

9 収入未済額調べ

該当なし

10 未収金回収促進のための取り組み状況調べ

収入科目		目		節			細節	
		行政財産使用料		行政財産使用料				
債権管理事務取扱要領の作成の有無				・作成済み (H 年 月作成) <span style="border: 1px solid black; border-radius: 50%; padding: 2px;">・未作成</span> (未作成の場合、その理由) 鳥取県会計規則、鳥取県公有財産事務取扱規則の規定により実施しているため作成していない				
債権分類の実施 (分類状況が分かる資料を添付すること。)				・実施済み (H 年 月実施) <span style="border: 1px solid black; border-radius: 50%; padding: 2px;">・未実施</span> (未実施の場合、その理由) 未収金がないため、実施していない				
区分	相手方	件数 (人)	相手の 状況	督促状 発行	催告	臨戸 訪問	分納 件数	回収 委託
現 年 度 分		件、人			・文書 ・電話		件	件
					・文書 ・電話			
過 年 度 分					・文書 ・電話			
					・文書 ・電話			
(上記以外の取組)								
<div style="border: 1px dashed black; padding: 5px;">(取組の効果)</div>								

11 不納欠損額調べ

該当なし

1 2 負担金、補助金、交付金及び委託料支出状況調べ

(1) 負担金

(平成26年12月31日現在)

(単位：円)

予算科目(目)	予算令達額	負担金の名称	支出先	負担率	支出年月日	支出金額(円)	支出の根拠法令名等 (規約、要領等を含む)	備考
	円							
新規以外のもの						1,097,111		
目 計						1,097,111		
合 計						1,097,111		

(2) 補助金

該当なし

(3) 交付金

該当なし



## (4)委託料

(平成26年12月31日)(単位:円)

予算科目 (目)	国補 単県の別	委託料の名称	委託契約の 相手方	当初契約			入札等 年月日 (契約保証金納 付等年月日)	完了 年月日	支出の状況			備考
				予定価格	(契約年月日) 契約額	契約期間			支出 区分	支出 年月日	金額	
				変更契約(最終)			履行検査 年月日					
					(契約年月日) 契約額	契約期間		契約形態				
文化財保護費	単県	青谷上寺地遺跡第16次調査 調査前測量業務	アサヒコンサルタン ト(株)	280,800	(H26. 6. 5) 108,000	~ H26. 6. 5 H26. 7.30	H26. 5. 8 (免除)	H26.7.3	精	H26.7.11	108,000	新規
							随	H26.7.3				
文化財保護費	単県	平成26年度青谷上寺地遺跡出土遺物レプリカ作製業務委託	(株)文化財ユニオン	5,065,200	(H26. 7. 4) 4,892,400	~ H26. 7. 4 H26.10.31	H26. 7. 2 (免除)	H26.10.17	精	H26.10.28	4,892,400	新規
							指	H26.10.20				
文化財保護費	国補	青谷上寺地遺跡第15次調査出土種実同定業務	(株)パレオ・ラボ	1,079,028	(H26.12.19) 1058,400	~ H26.12.19 H27. 3.25	H26.12.18 (免除)	-	-	-	-	新規
							指	-				
文化財保護費	国補	青谷上寺地遺跡出土金属製品保存処理業務	(株)東都文化財保存研究所	1,090,972	(H26. 6.25) 864,000	~ H26. 6.25 H27. 3. 6	H26. 6.24 (免除)	-	-	-	-	新規
							指	-				
文化財保護費	国補	青谷上寺地遺跡出土木製品保存処理業務	(株)東都文化財保存研究所	1,649,160	(H26. 6.25) 1,296,000	~ H26. 6.25 H27. 3. 6	H26. 6.24 (免除)	-	-	-	-	新規
							指	-				
文化財保護費	単県	青谷上寺地遺跡地下水位観測業務	(株)ウエスコ鳥取支社	1,587,600	(H26. 4. 1) 1,296,000	~ H26. 4. 1 H27. 3.31	H26. 3.25 (免除)	-	-	-	-	新規
							指	-				
予定価格が20万円未満のもの											0	
目 計											5,000,400	
埋蔵文化財センター費	国補	パズル土器・パズル木製品製作業務	(株)スタジオ三十三	1,615,000	(H26. 6. 3) 1,274,400	~ H26. 6. 3 H26. 7.29	H26. 5.28 (免除)	H26.7.29	精	H26.9.1	1,274,400	新規
							指	H26.7.29				

予算科目 (目)	国補 単別の別	委託料の名称	委託契約の 相手方	当初契約			入札等 年月日 (契約保証金納 付等年月日)	完了 年月日	支出の状況			備考
				予定価格	(契約年月日) 契約額	契約期間			支出 区分	支出 年月日	金額	
				変更契約(最終)			履行検査 年月日					
					(契約年月日) 契約額	契約期間		契約形態				
埋蔵文化財 センター費	単県	平成26年度「とっとり考古 学紀行」版下デザイン作成 業務委託	勝美印刷(株)鳥取 支店	275,400	(H26. 4.24) 243,000	~ H26. 5.14 H27. 1.14	H26.4.22 (免除)	—	精	H26.6.18 外	162,000	新規
							随	—				
埋蔵文化財 センター費	単県	鳥取県埋蔵文化財センター (本所)機械警備業務	山陰警備保障(株)	291,600	(H26. 3. 11) 291,600	~ H26. 4. 1 H29. 3.31	H26.2.19 (免除)	—	精	H26.5.23 外	64,800	見積合せによる 債務負担行為
							随	—				
埋蔵文化財 センター費	単県	H26埋蔵文化財センター (秋里)機械警備業務	山陰警備保障(株)	419,904	(H26. 3. 11) 419,904	~ H26. 4. 1 H29. 3.31	H26.2.19 (免除)	—	精	H26.5.23 外	93,312	見積合せによる 債務負担行為
							随	—				
埋蔵文化財 センター費	単県	消防設備等(特殊消防用設 備等)点検業務	(株)吉備総合電設	314,280	(H26. 3.11) 314,280	~ H26. 4. 1 H29. 3.31	H26. 2. 19 (免除)	—	精	H26.7.24	59,400	見積合せによる 債務負担行為
							随	—				
埋蔵文化財 センター費	単県	H26自家用電気工作物保 安管理業務	(一財)中国電気保 安協会	1,553,256	(H26. 3. 11) 1,200,744	~ H26. 4. 1 H29. 3.31	H26. 3. 4 (免除)	—	前	H26.4.24 外	400,248	見積合せによる 債務負担行為
							指	—				
埋蔵文化財 センター費	単県	埋蔵文化財センター清掃業 務	(有)光リフテック	1,689,736	(H26.3.11) 1,188,000	~ H26. 4. 1 H29. 3.31	H26.2.20 (免除)	—	精	H26.5.23 外	264,000	見積合せによる 債務負担行為
							指	—				
埋蔵文化財 センター費	単県	埋蔵文化財センター空調設 備保守点検業務	日本上下水道工業 (株)	1,458,000	(H26.3.11) 723,600	~ H26. 4. 1 H29. 3.31	H26.3.4 (免除)	—	精	H26.10.18	120,600	見積合せによる 債務負担行為
							指	—				
埋蔵文化財 センター費	国補	写真資料デジタルデータ化 業務	総合商社A. T. C. 秀NOW	820,000	(H26.11.4) 467,778	~ H26.11.4 H27.1.30	H26.10.30 (免除)	—	—	—	—	新規
							随	—				
埋蔵文化財 センター費	国委 託費	平成26年度青谷横木遺跡 出土木製品保存処理業務	(株)吉田生物研究 所	1,264,680	(H26. 5.14) 1,264,680	~ H26. 5.14 H26.10.31	H26. 5.14 (免除)	—	—	—	—	新規 特許による
					(H26.10. 2) 1,491,480	~ H26. 5.14 H27. 3. 6	随	—				

予算科目 (目)	国補単 別の別	委託料の名称	委託契約の 相手方	当初契約			入札等 年月日 (契約保証金納 付等年月日)	完了 年月日	支出の状況			備考
				予定価格	(契約年月日) 契約額	契約期間			支出 区分	支出 年月日	金額	
				変更契約(最終)			履行検査 年月日					
					(契約年月日) 契約額	契約期間		契約形態				
埋蔵文化財 センター費	国委 託費	下坂本清合遺跡出土試料 第2回自然科学分析業務	(株)加速器分析研 究所	573,361	(H26.12.22) 439,776	~ H26.12.22 H27. 3.20	H26.12.22 (免除)	-	-	-	-	新規
							随	-				
埋蔵文化財 センター費	国委 託費	下坂本清合遺跡出土試料 自然科学分析業務	(株)加速器分析研 究所	345,168	(H26.11.18) 345,168	~ H26.11.18 H27. 2.27	H26.11.14 (免除)	-	-	-	-	新規
							随	-				
埋蔵文化財 センター費	国委 託費	平成26年度下坂本清合遺 跡出土木製品保存処理業 務	(株)吉田生物研究 所	405,000	(H26.10.27) 399,600	~ H26.10.27 H27. 3.24	H26.10.27 (免除)	-	-	-	-	新規
							随	-				
埋蔵文化財 センター費	国委 託費	青谷横木遺跡出土金属製 品保存処理業務	(株)吉田生物研究 所	497,880	(H26.10. 1) 496,800	~ H26.10. 1 H27. 3.16	H26. 9.30 (免除)	-	-	-	-	新規
							随	-				
埋蔵文化財 センター費	国委 託費	下坂本清合遺跡出土品(炭 化建築部材)取上げ等業務	(株)スタジオ三十 三	3,693,600	(H26. 6.27) 3,693,600	~ H26. 6.27 H26.10.30	H26. 6.27 (免除)	H26.10.21	精	26.10.30	3,693,600	新規 特許による
							随	H26.10.21				
埋蔵文化財 センター費	国委 託費	青谷横木遺跡調査前地形 測量業務	鳥取県土地改良事 業団体連合会	4,212,588	(H26. 6. 6) 1,836,000	~ H26. 6. 6 H26. 7.31	H26. 6. 4 (免除)	H26.8.29	精	H26.9.16	1,836,000	新規
						~ H26. 6. 6 H26. 8.29	指	H26.8.29				
埋蔵文化財 センター費	国委 託費	青谷横木遺跡調査前測量 業務	(有)アスコ	2,336,481	(H26.10.27) 1,566,000	~ H26.10.29 H26.12.22	H26.10.21 (免除)	H26.12.22	-	-	-	新規
							指	H26.12.22				
埋蔵文化財 センター費	国委 託費	青谷横木遺跡(P16区)発 掘調査支援業務委託	(株)アート	71,346,652	(H26. 5.15) 71,345,880	~ H26. 5.15 H27. 2.28	H26. 5.12 (免除)	-	前	H26.7.18	21,400,000	新規
					(H26. 7. 8) 75,485,699	~ H26. 5.15 H27. 2.28	制限付	-				
埋蔵文化財 センター費	国委 託費	乙亥正大角遺跡発掘調査 支援業務委託	島田組・アイコンヤ マト共同企業体	100,073,682	(H26. 3. 5) 96,120,000	~ H26. 4. 1 H27. 1.31	H26. 2.28 (免除)	-	前	H26.5.23	28,836,000	債務負担行為 新規
							限定公募	-				

予算科目 (目)	国補 単 の 別	委託料の名称	委託契約の 相手方	当初契約			入札等 年月日 (契約保証金納 付等年月日)	完了 年月日	支出の状況			備考
				予定価格	(契約年月日) 契約額	契約期間			支出 区分	支出 年月日	金額	
				変更契約(最終)			履行検査 年月日					
					(契約年月日) 契約額	契約期間		契約形態				
埋蔵文化財 センター費	国委 託費	乙亥正屋敷廻遺跡発掘調 査支援業務委託	(株)アート・(株)大 地企画 共同企業体	139,062,258	(H26. 3. 5) 134,784,000	~ H26. 4. 1 H27. 1.31	H26. 2.28 (免除)	—	前	H26.4.22	40,000,000	債務負担行為 新規
					(H26. 8.18) 155,210,226	~ H26. 4. 1 H27. 3.16	限定公募	—				
埋蔵文化財 センター費	国委 託費	下坂本清合遺跡発掘調査 支援業務委託	(株)イビソク・(株) ティー・エム・エス 共同企業体	125,605,693	(H26. 3. 5) 121,824,000	~ H26. 4. 1 H27. 1.31	H26. 2.28 (免除)	—	前	H26.4.11	36,500,000	債務負担行為 新規
					(H26. 7. 7) 127,967,760	~ H26. 4. 1 H27. 1.31	限定公募	—				
埋蔵文化財 センター費	国委 託費	会下・郡家遺跡発掘調査支 援業務委託	安西工業(株)・ (株)ジーアイシー 共同企業体	299,971,896	(H26. 3. 5) 296,460,000	~ H26. 4. 1 H27. 2.28	H26. 2.28 (免除)	—	前	H26.5.16	88,900,000	債務負担行為 新規
					(H26.10.30) 296,460,000	~ H26. 4. 1 H27. 3.16	限定公募	—				
埋蔵文化財 センター費	国委 託費	青谷横木遺跡調査補助員 及び発掘作業員派遣業務 委託	(株)アート	7,128 (1時間当たり)	(H26. 6. 6) 6,912	~ H26. 6. 9 H27. 3.31	H26. 6. 3 (免除)	—	精	H26.7.15 外	67,013,840	単価契約 新規
							限定公募	—				
埋蔵文化財 センター費	国委 託費	発掘調査測量補助員派遣 業務委託料(青谷横木遺 跡)	(株)大地企画	5,665 (1時間当たり)	(H26. 6.27) 5,616	~ H26. 6.30 H27. 3.13	H26. 6.25 (免除)	—	精	H26.7.8 外	8,595,288	単価契約 新規
							限定公募	—				
予定価格が20万 円未満のもの											2,310,973	
目 計											301,524,461	
合 計											306,524,861	

## (4)委託料

(平成26年12月31日)(単位:円)

予算科目 (目)	国補 単 別の	委託料の名称	委託契約の 相手方	当初契約			入札等 年月日 (契約保証金納 付等年月日)	完了 年月日	支出の状況			備考
				予定価格	(契約年月日) 契約額	契約期間			支出 区分	支出 年月日	金額	
				変更契約(最終)			履行検査 年月日					
					(契約年月日) 契約額	契約期間		契約形態				
埋蔵文化財 センター費		「埋蔵文化財センター古代 まつり」ポスター・チラシ版下 作成業務	勝美印刷株式会社 鳥取支店	49,680	(H26. 6. 6.) 49,680	~ H26. 6.11 H26. 6.26			精			
埋蔵文化財 センター費		鳥取県埋蔵文化財センター 古代まつり駐車場警備委託 業務	鳥取警備保障株式 会社	48,600	(H26. 7.15.) 48,600	H26. 8. 2	H26 8. 2		精			
埋蔵文化財 センター費		平成26年土「とっとり発掘 物語展」ポスター・チラシ版 下作成業務	勝美印刷株式会社 鳥取支店	63,000	(H26.10.14.) 49,680	~ H26.10.14 H26.10.28			精			
埋蔵文化財 センター費		平成26年度「とっとり発掘 物語展」遺跡紹介パネル作 成業務	(有)高橋カメラ店	129,600	(H26.11.14.) 129,600	~ H26.12. 5			精			
埋蔵文化財 センター費		青谷調査室清掃業務委託	(株)エパークリー ン	133,570	(H26. 4. 1) 133,570	~ H26. 4. 1 H27. 3.31	H26. 2.19 (免除)	H25.4.30外				
埋蔵文化財セ ンター費		一般廃棄物収集・運搬及び 処分委託業務	(財)鳥取市環境事 業公社	28,512	(H26. 4. 1) 28,512	~ H26. 4. 1 H27. 3.31						
埋蔵文化財セ ンター費		産業廃棄物収集・運搬及び 処分委託業務	(有)アセスメントカ ンパニー	17,405	(H26. 4. 1) 17,405	~ H26. 4. 1 H27. 3.31						
埋蔵文化財セ ンター費	単 県	H26埋蔵文化財センター (積善)機械警備業務	セコム(株)	90,720	(H26. 4. 1) 272,160	~ H26. 4. 1 H29. 3.31						

予算科目 (目)	国補単 別の別	委託料の名称	委託契約の 相手方	当初契約			入札等 年月日 (契約保証金納 付等年月日)	完了 年月日	支出の状況			備考
				予定価格	(契約年月日) 契約額	契約期間			支出 区分	支出 年月日	金額	
				変更契約(最終)			履行検査 年月日					
					(契約年月日) 契約額	契約期間		契約形態				
埋蔵文化財 センター費	国委 託費	竹・伐採木処分業務	(有)徳田造園	132,840	(H26.7.24) 132,840	~ H26. 7.28 H26. 8. 1		H26. 7.31	精	H26.8.26	132,840	
								H26. 7.31				
埋蔵文化財 センター費	国委 託費	鳥取県埋蔵文化財センター 気高調査事務所消防設備 点検業務委託	(株)吉備総合電設	49,680	(H26.3.11) 49,680	~ H26. 4. 1 H27. 3. 31			精	H26.10.17 外	49,680	
埋蔵文化財 センター費	国委 託費	気高調査事務所産業廃棄 物処理委託業務	(株)キョウエイ	22,680	(H26.3.25) 22,680	~ H26. 4. 1 H27. 3. 31			精	H26.12.4 外	15,120	
埋蔵文化財 センター費	国委 託費	気高調査事務所一般廃棄 物処理委託業務	(株)キョウエイ	33,696	(H26.3.25) 33,696	~ H26. 4. 1 H27. 3. 31			精	H26.12.4 外	22,464	
埋蔵文化財 センター費	国委 託費	鳥取県埋蔵文化財センター 気高調査事務所機械警備 業務	山陰警備保障(株)	62,208	(H26.3.14) 62,208	~ H26. 4. 1 H27. 3. 31			精	H26.12.10 外	41,472	
埋蔵文化財 センター費	国委 託費	青谷横木遺跡蜂の巣駆除 業務委託	光リフテック(有)	27,000	(H26.9. 4) 24,840	~ H26. 9. 4 H26. 9.12		H26. 9. 6	精	H26.10.14	24,840	
								H26. 9. 8				
予定価格が20万 円未満のもの											286,416	
目 計												
合 計											286,416	

13 工事請負費調べ

(平成26年12月31日現在)  
(単位:円)

予算科目 (目)	国補 単 県 の 別	工 事 名	当 初 契 約			入札年月日 (契約保証金 納付等年月日)	請 負 人	支 出 状 況			実地完成 年月日	変 更 ( 解 除 ) の 理 由 ・ 内 容	備 考
			(起工年月日) 設 計 額	(契約年月日) 契 約 額	工 期			支 出 区 分	年 月 日	金 額			
			変 更 契 約 ( 最 終 )								契 約 形 態		
			(変更年月日) 設 計 額	(契約年月日) 契 約 額	工 期								
教育財産管理費	単県	県立埋蔵文化財 センター渡り廊下 屋根他改修工事	(H26.5.28) 2,580,120	(H26.6.18) 2,430,000	H26.6.18 ~ H26.9.30	H26.6.13 (H26.6.16)	(株)大晃工業	精	H26.10.28	2,430,000	H26.9.22		
						指					H26.10.1		
教育財産管理費	単県	埋蔵文化財セン タートップライト改 修工事	(H26.10.17) 1,516,320	(H26.11.5) 1,404,000	H26.11.5 ~ H27.1.31	H26.10.31 (H26.11.4)	(有)原田建築	精					
						指							
目 計										2,430,000			
合 計										2,430,000			

1 4 財産に関する調べ

(1) 公有財産

ア 土地

(平成26年12月31日現在)

行政・普通財産の区分	機関名又は施設名等	所在地	前年度末		本年度異動状況						差引		備考
			面積(m <sup>2</sup> )	価額(円)	増減別	異動日	面積(m <sup>2</sup> )	価額(円)	増減理由	登記年月日	面積(m <sup>2</sup> )	価額(円)	
行政財産	埋蔵文化財センター	鳥取市国府町宮下1260番地	5,720.49	70,500,864	増加	H				H	5,720.49	70,500,864	
					減少	H				H			
	埋蔵文化財センター秋里分室	鳥取市商栄町390番地	5,722.00	-	増加	H				H	5,722.00	-	
					減少	H				H			
	埋蔵文化財センター積善分館	鳥取市国府町宮下1262番地	9,407.14	-	増加	H				H	9,407.14	-	
					減少	H				H			
合計			20,849.63	70,500,864							20,849.63	70,500,864	



イ 建物

(平成26年12月31日現在)

行政・普通財産の区分	機関名又は施設名等	所在地	前年度末		本年度異動状況						差引		備考
			面積(m <sup>2</sup> )	価額(円)	増減別	異動日	面積(m <sup>2</sup> )	価額(円)	増減理由	登記年月日	面積(m <sup>2</sup> )	価額(円)	
行政財産	埋蔵文化財センター	鳥取市国府町宮下1260番地	1,419.26	-	増加	H				H	1,419.26	-	
					減少	H				H			
	埋蔵文化財センター秋里分室	鳥取市商栄町390番地	1,895.00	6,600,000	増加	H				H	1,895.00	6,600,000	
					減少	H				H			
	埋蔵文化財センター青谷調査室洗淨棟	鳥取市青谷町青谷667番地	39.83	5,993,400	増加	H				H	39.83	5,993,400	
					減少	H				H			
	埋蔵文化財センター積善分館	鳥取市国府町宮下1262番地	2,099.19	-	増加	H				H	2,099.19	-	
					減少	H				H			
合計			5,453.28	12,593,400							5,453.28	12,593,400	

-23-

ウ 山林

該当なし

エ 動産(船舶、浮標、浮棧橋、浮ドック、航空機)

該当なし

オ 物 権

該当なし

カ 無体財産権（特許権、著作権、商標権、実用新案権等）

該当なし

キ 有価証券

該当なし

(2) 金券類の受払状況

ア 金券の受払状況

(平成26年12月31日現在)

種 別	前年度末	本 年 度 中		差 引	備 考
		購 入 額	使 用 額		
郵便切手類及び郵便はがき	円 79,092	円 335,792	円 322,258	円 92,626	
収入印紙	0	0	0	0	
収入証紙	0	0	0	0	
タクシークーポン券	0	0	0	0	
鉄道バスプリペイドカード	0	0	0	0	
合 計	79,092	335,792	322,258	92,626	

イ タクシーチケットの受払状況

該当なし

15 財産の貸付け及び使用許可調べ

(1) 土地及び建物

ア 土地

(平成26年12月31日現在)

行政・普通財産の区分	貸付(使用許可)目的	所在地	数量又は面積	貸付(使用許可)年月日	当初貸付(使用許可)年月日	貸付(使用許可)期間	貸付(使用)料(円)		貸付(使用許可)先 住所名	備考
							単価	本年度の貸付(使用)料(現在高)		
行政財産	電力供給事業	鳥取市国府町宮下1260番地	電柱4本 支柱2本 支線2条	H23. 1. 31	H13. 3. 19	H23. 4. 1 ~ H28. 3. 31	月額・年額 12,000	12,000	鳥取市新品治1番地6 中国電力(株)鳥取営業所長	
	電力供給事業	鳥取市国府町宮下1262番地	電柱1本 支線1条	H25. 3. 5	H20. 4. 1	H25. 4. 1 ~ H30. 3. 31	月額・年額 3,000	3,000	鳥取市新品治1番地6 中国電力(株)鳥取営業所長	
	電気通信線設置	鳥取市国府町宮下1262番地	本柱1本	H25. 3. 5	H20. 4. 1	H25. 4. 1 ~ H30. 3. 31	月額・年額 1,500	1,500	鳥取市湯所町2-258 西日本電信電話(株)鳥取支店長	
	電力供給事業	鳥取市商栄町390番地	支線1条	H22. 2. 16	H17. 3. 14	H22. 4. 1 ~ H27. 3. 31	月額・年額 1,500	1,500	鳥取市新品治1番地6 中国電力(株)鳥取営業所長	
合計							18,000			

イ 建物

(平成26年12月31日現在)

行政・普通財産の区分	貸付(使用許可)目的	所在地	数量又は面積	貸付(使用許可)年月日	当初貸付(使用許可)年月日	貸付(使用許可)期間	貸付(使用)料(円)		貸付(使用許可)先 住所名	備考
							単価	本年度の貸付(使用)料(現在高)		
行政財産	鳥取県聴覚障害者協会東部支部の活動拠点	鳥取市国府町宮下1262番地	40.00㎡	H26. 3. 17	H26. 4. 1	H26. 4. 1 ~ H26. 9. 30	月額・年額 0	0	米子市角盤町1-116 (公社)鳥取県聴覚障害者協会理事長	ろう団体名称変更
行政財産	鳥取県東部ろうあ協会の活動拠点	鳥取市国府町宮下1262番地	40.00㎡	H26. 10. 29	H26. 10. 29	H26. 10. 29 ~ H27. 3. 31	月額・年額 0	0	鳥取市南吉方2-63-203 鳥取県東部ろうあ協会会長	
合計								0		

(2) 物品

該当なし

1.6 借受不動産明細調べ

区分	種別	借受(使用)目的	所在地	数量又は面積	契約の状況			借受先住所名	備考
					契約書の有無	借受期間	借料 単価 本年度の借料		
土地	宅地	現地事務所	鳥取市気高町新町一丁目6番地ほか	421.87㎡	有	H26.4.1 ～ H27.3.31	月額 2,580,000円	鳥取市青谷町青谷4022-1 (有)小泉豊装 代表取締役 小泉 淳一	
土地	雑種地	公用車駐車場	鳥取市気高町新町一丁目5番地	329.00㎡	有	H26.4.1 ～ H27.3.31	年額 181,440円	鳥取市鹿野町鹿野1779-2 中原 勝光	
建物	SC2F	現地事務所	鳥取市気高町新町一丁目6番地	1F:251.85㎡ 2F:150.00㎡ の一部	有	H26.4.1 ～ H27.3.31	上記宅地を含む	鳥取市青谷町青谷4022-1 (有)小泉豊装 代表取締役 小泉 淳一	
合計							2,761,440円		

1.7 職員住宅及び職員駐車場の管理状況調べ

(1) 職員住宅

該当なし

(2) 職員駐車場

ア 管理状況

(平成26年12月31日現在)

財産の区分	所在地	1区画の面積 (㎡)	貸付(使用)料(月額) (円)
行政財産	鳥取市国府町宮下1260番地	12.5	3,225

イ 異動状況

(行政・普通財産)

月別	前月末	当月減	当月増		当月末	うち減免	調定額	収入済額	収入未済額	
			うち減免	うち減免						
4月	5人	0人	0人	11人	0人	16人	0人	51,600円		
5月	16	0	0	0	0	16	0	51,600		
6月	16	0	0	0	0	16	0	51,600		
7月	16	0	0	0	0	16	0	51,600		
8月	16	0	0	0	0	16	0	51,600		
9月	16	0	0	0	0	16	0	51,600		
10月	16	0	0	0	0	16	0	51,600		
11月	16	0	0	0	0	16	0	51,600		
12月	16	0	0	0	0	16	0	51,600		
1月	-	-	-	-	-	-	-	-		
2月	-	-	-	-	-	-	-	-		
3月	-	-	-	-	-	-	-	-		
合計								464,400	464,400円	0円

18 自動車（二輪を除く）の管理状況調べ

（平成26年12月31日現在）

車種	年式	登録番号	取得年月日	総走行 キロ数	本年度		備考
					車検年月日	修理費等	
軽四輪 貨物自動車	13	鳥取41 い1891	保管14年4月1日 H13.8.30	93,381	—	定期点検等 116,578円	青谷調査室
合計		1台				116,578円	

19 寄附物件の受納状況調べ

該当なし

20 備品の処分状況調べ

（平成26年12月31日現在）

品名 (規格・ 銘柄)	数量	(保管換年月 日) 取得年月日	耐用 年数	取得価格	不用 決定 年月日	不用 とする 理由	処 分				備考
							売払 棄却 の別	売払方法・ 棄却理由	処 分 年月日	売払額・ 処分費用	
両袖机	1	H15.3.28	年 1	円 86,625	H26. 5.9	破損の ため	棄 却	破損の ため	H26. 5.15	円 2,700	
合計	1			86,625						2,700	

21 現金、有価証券、物品の亡失、損傷調べ

(1) 現金、有価証券、物品の亡失、損傷調べ

（平成26年12月31日現在）

現金、有価 証券又は物 品名	数量	金 額	出納員又は 使用者氏名	亡失、損傷 年月日、時	同左場所	同左概要	報 告 年月日	会計局の 審査結果
公用車	1台	円 リース車両 (194,702円)	堀 寛之	H26.11.10	鳥取市青 谷町青谷 IC鳥取方 面合流地 付近	職員の前方不注意により、渋滞 で停止中の被害 者車両に追突し たもの。	H27.1.22	—
合計		(194,702円)						

(2) 物品の照合

照合年月日	現物確認できなかった物品	現物が確認できなかった物品名	個 数
平成26年11月20日 平成26年11月25日	・有 ○無		

2.2 埋蔵文化財の調査と研究

(1) 発掘調査

遺跡名	調査目的	調査面積 調査期間	内容・成果等
青谷上寺地遺跡 (鳥取市青谷町内)	弥生時代後期の中心 域西側における集落 様相の実態解明	225㎡ 6月4日 ～12月5日	木造構造物を伴う畔状の盛土1条(古墳時代)、溝状遺構1条(弥生時代)を確認した。これまでの調査成果と合わせて、弥生時代終わり頃から古墳時代初め頃にかけて、湿地への働きかけが盛んに行われた様相がより一層明確となった。 また、条里地割の境界と考えられる古代の畔状盛土1条を確認した。推定古代「山陰道」を基準として、南北で対称に条里地割が施工されていた可能性が高まった。
青谷横木遺跡 (鳥取市青谷町内)	一般国道9号(鳥取 西道路)の改築に伴 う遺跡の記録保存	2,943.8㎡ 6月10日 ～3月16日 (予定)	16箇所の橋脚部分の発掘調査の内5箇所(P12～P16)の発掘調査を実施した。国交省の準備(矢板打設)が遅れから調査着手が2ヶ月以上遅れ、降雪期の発掘調査を実施せざるを得なくなった。また、入札が不調に終わったP12～P15区の発掘調査は急遽直営の発掘調査に切り替えて実施したが、一部調査が完了しない見込みである。 調査の結果、平安時代の道路と考えられる土手状遺構や古墳時代後期の幅10m以上の流路、古墳時代前期の杭列等を確認した。昨年度の引き続き、平安時代の木製祭祀具や木筒、容器類等の木製品が大量に出土した。
会下・郡家遺跡 (鳥取市気高町内)	一般国道9号(鳥取 西道路)の改築に伴 う遺跡の記録保存	16,298㎡ (内残1,878㎡) 4月15日 ～12月26日	平成25年度に10世紀～11世紀の因幡国府の出先機関と判断した大型掘立柱建物跡群(A区東)の西側(A区西)及び水田部(B区)等の発掘調査を実施した。調査の結果、A区西では小型の掘立柱建物跡と区画溝・道路等を確認し、当時の因幡国府の出先機関の全体像に迫る調査成果となった。また、B区においては、鎌倉時代及び平安時代頃の水田跡を確認した。 県土整備部が担当する廃土搬出の遅れから、B区の調査着手が遅れ、発掘調査期間を延長したものの、2,050㎡の発掘調査が平成27年度に残ることとなった。
乙亥正屋敷廻遺跡 (鳥取市鹿野町内)	一般国道9号(鳥取 西道路)の改築に伴 う遺跡の記録保存	4,900㎡ (内残3,512㎡) 4月8日 ～2月6日 (予定)	試掘調査結果と現実が大きく乖離しており、調査が必要な層(遺構面)の大幅増、遺跡範囲の広がり等があったことから調査計画の大きな変更を余儀なくされた。結果、調査期間を延長して降雪期の発掘調査を実施することとなったが、平成27年度・平成28年度に残ることとなった。 古墳時代前期の板と杭で護岸された水路跡や当時の斜面に展開する竪穴住居跡群を確認した。また、全国で10例目となる八禽鏡(はちきんきょう)が出土し、容器や建築材等の保存状況の良い木製品や土器が大量に出土した。

遺跡名	調査目的	調査面積 調査期間		内容・成果等
乙亥正大角遺跡 (鳥取市鹿野町内)	一般国道9号(鳥取西道路)の改築に伴う遺跡の記録保存	3,810㎡ 6月16日 ～11月21日		県土整備部が担当した事前準備の遅れにより、発掘調査着手が計画から半月遅れたものの期間内に発掘調査を終了することができた。 古墳時代前期の掘立柱建物跡や中世以前の掘立柱建物跡、時期不明の柱材が残る柱穴を確認した。遺跡内の谷の一部が中世以前の土器などとともに大型の礫で埋まっており、中世以前の集落が、土石流等の災害により流出してしまったものとする。
下坂本清合遺跡 (鳥取市気高町内)	一般国道9号(鳥取西道路)の改築に伴う遺跡の記録保存	2,703㎡ 4月22日 ～11月28日		弥生時代後期～末頃の集落跡を確認した。弥生時代末頃の竪穴住居跡には火災で焼け落ちたものがあり、当時の屋根材や住居の内装が炭化した状態で良く残っていた。全国的にも最も残りの良いものである。また、弥生時代後期に集落の端に打ったと考えられる防御用の逆茂木(さかもぎ)が立った状態で出土した。 発掘調査が当初予定より進捗したことから、883㎡の追加調査を実施した。

(2) 出土品の調査研究

○青谷上寺地遺跡出土品の調査研究

青谷上寺地遺跡で出土した石器(礫石器、剥片石器)について再整理を行い、データベースを作成したほか、調査研究報告書を刊行した。

2.3 埋蔵文化財保護思想の普及状況

(1) 普及資料の発行等

ア 遺跡地図の改訂(3月末配布)

市町村単位で遺跡地図の更新(年度ごとに遺跡の新発見や消滅について登録)を行い、県内の文化財保護部局及び開発部局等に配布。

イ 「とっとり考古学紀行」(年3回、夏号、秋冬号、春号各20,000部)の発行

県内外からの観光客に県内の考古学に関する最新の情報を提供するためのリーフレットを夏号、秋冬号及び春号の3回発行し、県内の文化観光施設、旅館組合及び道の駅等に配布。

ウ 図書の刊行

名称	内容等	発行部数		備考
		無償頒布	有償頒布	
鳥取県埋蔵文化財センター調査報告60 青谷上寺地遺跡出土品調査研究報告10 石器(1)	石器について行った出土品調査研究の成果をまとめた。 県内外発掘調査機関、県内図書館などに配布。	500部	500部	H27 3月末 刊行
青谷上寺地遺跡調査研究年報2014	平成26年度に実施した青谷上寺地遺跡の発掘調査成果の概要をはじめ、青谷上寺地遺跡に関連した調査研究の成果を収録。 県内外発掘調査機関、県内図書館などに配布。	500部	100部	H27 3月末 刊行
第6回青谷上寺地遺跡フォーラム 人・もの・心を運ぶ船～青谷上寺地遺跡の交流をさぐる～	第6回青谷上寺地遺跡フォーラムの予稿集。 県内外発掘調査機関、県内図書館な	500部	500部	H27 3月中 旬刊行

エ ホームページでの遺跡情報発信

遺跡の発掘調査や出土品・展示会の情報を逐次発信している。



平成26年度からフェイスブックを使つての情報発信も開始した。

オ 鳥取県の考古学情報の発信「古代歴史への誘い」事業（出前講演）の実施

文化財主事が県内外に出掛け、鳥取県の優れた埋蔵文化財に関する講演（1月31日現在 県内21回、  
県外2回で 延べ25人）を行い、鳥取県を全国にアピールした。

県内出前講演一覧

実施場所	内 容	参加人数
大山町	白鳳の精華～上淀麿寺跡にみる古代寺院の実像～	30名
鳥取市	会下・郡家遺跡 下坂本清合遺跡	7名
鳥取市	気高町の遺跡～会下・郡家遺跡を中心に～	18名
鳥取市	勾玉作り、火おこし体験	50名
智頭町	鳥取池田家32万石～揚羽蝶の時代～	70名
米子市	北からみる倭国の形成	40名
鳥取市	三井住友信託銀行セミナー	100名
八頭町	八頭考古学シンポジウム パネルディスカッション八頭の魅力を探る・楽しむ・活かす！	100名
鳥取市	下坂本清合遺跡を掘る-発掘調査で探る昔の暮らし-	126名
鳥取市	ひよどり尾城の歴史について（歴史散策）	40名
北栄町	砂に埋もれた大集落～長瀬高浜遺跡の紹介～	122名
若桜町	若桜途中下車魅力づくりワークショップ	12名
米子市	鳥取県における古代から中世の製鉄遺跡	60名
鳥取市	乙亥正屋敷廻遺跡の解説	43名
鳥取市	第31回中・四国旧石器文化談話会	36名
日南町	検地帳から中世の景観を復元する	15名
鳥取市	青谷上寺地遺跡の千年	26名
鳥取市	会下・郡家遺跡の平安時代	13名
鳥取市	竪穴住居のタイムカプセル～下坂本清合遺跡の焼失住居～	40名
鳥取市	青谷平野の木製祭祀具	40名
鳥取市	八頭発掘物語	35名

県外出前講演一覧

実施場所	内 容	参加人数
宮城県	石器技術学セミナー及び製作実験 関連資料調査 討論及び補足実験	32名
石川県	史跡青谷上寺地遺跡の玉づくり	100名

カ 青谷上寺地遺跡土曜講座及び青谷上寺地遺跡フォーラムの開催

主に地元の方を対象に、最新の調査研究成果を踏まえながら青谷上寺地遺跡の持つ魅力を職員が語る「土曜講座」と、多くの方に青谷上寺地遺跡の調査研究成果と魅力を伝えるためのフォーラムを開催した。土曜講座・フォーラムとも鳥取市青谷町総合支所多目的ホールを会場として行った。

土曜講座一覧及び青谷上寺地遺跡ミニフォーラム

	開催日	内 容	参加人数
第1回	5月24日	青谷上寺地遺跡の集落像を探る① ～区画溝の変遷について～	37人
第2回	7月19日	青谷上寺地遺跡の集落像を探る② ～砂丘活動と青谷上寺地遺跡について～	28人
第3回	10月11日	青谷上寺地遺跡の集落像を探る③ ～木造建造物の機能について～	25人
第4回	12月20日	今年度発掘調査の最新成果	41人
第5回	2月7日	青谷上寺地遺跡と妻木晩田遺跡	53人
フォーラム	3月14日	人・もの・心を運ぶ船 ～青谷上寺地遺跡の交流をさぐる～	118人

キ 発掘調査現場の公開

遺 跡 名	調査（公開）期間
青谷上寺地遺跡	6月 6日～12月 5日
青谷横木遺跡	6月10日～ 3月16日（予定）
会下・郡家遺跡	4月15日～12月26日

遺 跡 名	調査（公開）期間
乙亥正屋敷廻遺跡	4月 8日～ 2月 6日（予定）
乙亥正大角遺跡	6月16日～11月21日
下坂本清合遺跡	4月22日～11月28日

ク 発掘調査現地説明会の開催

遺 跡 名	日 時	人 数
青谷上寺地遺跡	11月 1日（土）午後1時30分から	60人
会下・郡家遺跡	1月15日（土）午後2時から	101人
下坂本清合遺跡	9月 6日（土）午後1時30分から	108人

(2) 常設展示の見学者数

(平成26年 1月31日現在)

ア 埋蔵文化財センター展示室

一 般	児童・生徒	合 計	備 考
617人	174人	791人	一 般 … 個人611人、団体 6人（1件） 児童等 … 団体174人（6件）

イ 青谷調査室収蔵展示室

一 般	児童・生徒	合 計	備 考
275人	24人	299人	一 般 … 個人226人、団体49人（2件） 児童等 … 個人 4人、団体 20人（1件）

2.4 埋蔵文化財関係職員等の研修

(平成27年1月31日現在)

(単位：日、人)

研 修 名	計 画 (A)			実 績 (B)			(B) - (A)		内 容 及 び 会 場
	研修期間	日数	人員	研修期間	日数	人員	日数	人員	
遺跡調査 検討課程	H26.6.28	1	60	H26.6.28	1	94	1	34	<内容> 最新の発掘調査の事例発表や講演を通して、発掘調査に必要な知識や技術の向上を図った。 <会場> 県民文化会館
発掘技術 検討課程	H26.8.27	1	30	H26.8.27	1	28	1	△2	<内容> 発掘調査記録でのデジタル一眼レフカメラ使用について必要な知識や技術の向上を図った。 <会場> 埋蔵文化財センター
遺物調査 検討課程	H27.3.19	1	30						<内容> 講演や事例発表によって鳥取県内で出土した木製祭祀具について知識の向上を図る。 <会場> 埋蔵文化財センター
合 計	—	3	120	—					

2.5 文化財保護の資料収集及び活用状況

- ・写真資料のデジタルデータ化（1月末完了）

埋蔵文化財発掘調査の成果品であるポジフィルムが経年劣化する以前に画像をデジタルデータ化し、コンパクトディスクへ保存した（52遺跡の約5,924枚を実施）。

2.6 出土品の整理及び公開状況

- (1) 土器の復元及び金属製品の再整理

- ・展示等の普及啓発で活用するため、遺跡から出土した土器をもとの形に復元した。（3遺跡 10点）
- ・收藏している金属製品の保存性をより高めるため再整理作業を実施した。（14遺跡 290点）

- (2) 出土品の展示公開

埋蔵文化財センターが整理を行った出土品を中心に公開した。

展示会名称	会場	会期	内容
来て！見て！！さわって！！とっとり発掘速報展	イオン鳥取北店	H26. 7. 25～H26. 7. 27	県内の遺跡の内、青谷上寺地遺跡（鳥取市）、会下・郡家遺跡（鳥取市）、殿河内大づけ遺跡（大山町）を出土品と写真パネルで紹介した。なお、青谷上寺地遺跡、桂見遺跡・岡益廃寺（以上鳥取市）、長瀬高浜遺跡（湯梨浜町）、笠見第3遺跡（琴浦町）、坂長第7遺跡（伯耆町）の出土品をタッチングする体験コーナーを開設した。
	パープルタウン	H26. 11. 7～H26. 11. 9	
とっとり発掘物語展	鳥取県立博物館	H26. 12. 5～H27. 12. 28	県内の発掘調査された遺跡のうち主な17遺跡、約360点の出土品（国史跡青谷上寺地遺跡、国史跡因幡国庁跡、国史跡若桜鬼ヶ城跡、下坂本清合遺跡、青谷横木遺跡などの発掘調査成果）を展示した。
埋蔵文化財センター常設展	鳥取県埋蔵文化財センター	H26. 4. 1～H27. 3. 31	埋蔵文化財センターの收藏品である青谷上寺地遺跡、桂見遺跡、南原千軒遺跡、笠見第3遺跡、湯坂遺跡、長瀬高浜遺跡、岡益廃寺などから出土した土器等を展示し、来所者へ向け県内の遺跡について情報発信をした。
埋蔵文化財センター青谷調査室収蔵展示室常設展示	埋蔵文化財センター青谷調査室収蔵展示室	H26, 4, 1～H27, 3, 31	青谷上寺地遺跡で出土した木製品を中心に収蔵を兼ねて約300点を展示公開している。また、ETV特集で取り上げられ、NHKから寄贈を受けた人間国宝製作の作品3点と、その際に併せて復元製作された鉄製品をはじめ、緑土が塗られた楯の復元品、新しく作製したレプリカや過年度に保存処理が終了した木製品についても展示公開している。

- (3) 埋蔵文化財センター古代祭りの開催

模擬発掘体験コーナーやパズル土器タイムトライアルコーナーなどの体験型イベントを体験していただいた。

- (4) 出土品等の貸し出し

ア 展示への貸出

貸出先	貸出物
鳥取県立博物館常設展	青谷上寺地遺跡出土遺物レプリカ、桂見遺跡出土縄文土器深鉢ほか 計38点
鳥取県立図書館国際交流ライブラリー開設記念展示	青谷上寺地遺跡出土無文土器レプリカほか 計3点
米子市立山陰歴史館	青谷上寺地遺跡出土琴レプリカほか 計2点
大分市歴史資料館	青谷上寺地遺跡出土木製高杯レプリカほか 計22点

あおや郷土館（鳥取市ジオパーク推進課）	青谷上寺地遺跡出土木製又鍬レプリカほか 計11点
島根県立古代出雲歴史博物館	青谷上寺地遺跡出土石錘ほか 計12点
倉吉博物館	豊成叶林遺跡出土ナイフ形石器ほか 計13点
出雲弥生の森博物館	陰田第6遺跡出土刻書土器ほか 計3点
島根県立古代出雲歴史博物館	坂長第7遺跡出土木簡 計3点
琴浦町教育委員会	坂長第6遺跡出土長頸瓶 計5点

イ 写真ネガ等の貸出

貸出先	貸出物
株式会社東デザインプロモーション	青谷上寺地遺跡出土かご写真 1点
高崎市立かみつけの里博物館	青谷上寺地遺跡出土イノシシ肩甲骨写真 1点
あおや郷土館（鳥取市ジオパーク推進課）	青谷上寺地遺跡出土景観復原CG他 計6点
栃木県立なす風土記の丘資料館	青谷上寺地遺跡出土動物線刻琴板写真 1点
株式会社はる制作室	青谷上寺地遺跡出土殺傷人骨写真ほか 計2点
株式会社ベストセラーズ	青谷上寺地遺跡出土殺傷人骨写真ほか 計4点
株式会社ベネッセコーポレーション	青谷上寺地遺跡出土木製匙集合写真 1点
青谷上寺地遺跡を学ぶ会	青谷上寺地遺跡出土鉄製刀子写真ほか 計10点
奈良県立橿原考古学研究所	青谷上寺地遺跡出土動物線刻琴板写真 1点
青谷上寺地遺跡史跡保存活用協議会	青谷上寺地遺跡出土木製高杯写真ほか 計12点
久留米市埋蔵文化財センター	青谷上寺地遺跡出土鑄造鉄斧写真 計2点
一般社団法人日本結核病学会	青谷上寺地遺跡出土人骨写真 1点
株式会社講談社	青谷上寺地遺跡調査区空撮写真 1点
有限会社鋳脈社	青谷上寺地遺跡出土線刻土器写真 1点
米子市立山陰歴史館	青谷上寺地遺跡出土琴写真ほか 計4点
島根県立古代出雲歴史博物館	青谷上寺地遺跡出土景観復原CG他 計6点
新潟日報社	青谷上寺地遺跡出土殺傷人骨写真 1点
株式会社新泉社	青谷上寺地遺跡出土木製桶写真 計2点
大分市歴史資料館	青谷上寺地遺跡出土かご写真ほか 計33点
株式会社朝日新聞出版	青谷上寺地遺跡出土アワビオコシ写真ほか 計2点
青谷上寺地遺跡展示館	青谷上寺地遺跡出土木製盾写真ほか 計11点
青谷上寺地遺跡展示館	青谷上寺地遺跡出土土玉写真ほか 計22点
青谷上寺地遺跡展示館	青谷上寺地遺跡出土景観復原CG他 計7点
青谷上寺地遺跡展示館	青谷上寺地遺跡出土土かご写真ほか 計17点
大阪府立弥生文化博物館	青谷上寺地遺跡出土土玉写真ほか 計3点
株式会社雄山閣	青谷上寺地遺跡出土人骨写真 1点
あおや和紙工房	青谷上寺地遺跡出土木製品写真 1点
株式会社ジャパン通信情報センター	青谷横木遺跡出土木簡・人形・馬形写真 17点
奈良文化財研究所	西坪中中畝遺跡写真 1点
公益財団法人鳥取県教育文化財団	西桂見遺跡ほか写真 2点
島根県古代文化センター	名和小谷遺跡出土ナイフ形石器写真 1点
木簡学会	青谷横木遺跡出土木簡写真 3点
ラムダプロダクション	籠津乳母ヶ谷第2遺跡出土土玉類写真 1点
PHP研究所	桂見遺跡出土丸木舟写真 1点
株式会社グレイル	青谷上寺地遺跡出土品写真 2点

ウ 出前授業等への貸出

貸出先	貸出物
鳥取市立湖南学園	火起こし道具一式 9セット
個人（PTA活動）	火起こし道具一式 15セット
鳥取市立南中学校	縄文土器ほか 4点
鳥取市立湖南学園	火起こし道具一式 4セット
個人（PTA活動）	火起こし道具一式 10セット
智頭町教育委員会	火起こし道具一式 10セット
福地子ども会	火起こし道具一式 15セット
鳥取県立聾学校	火起こし道具一式 3セット、縄文土器ほか 7点

- 意見、要望等
  - (1) 業務に関する意見・要望等  
特になし
  - (2) 監査委員事務局に対する要望等  
該当なし